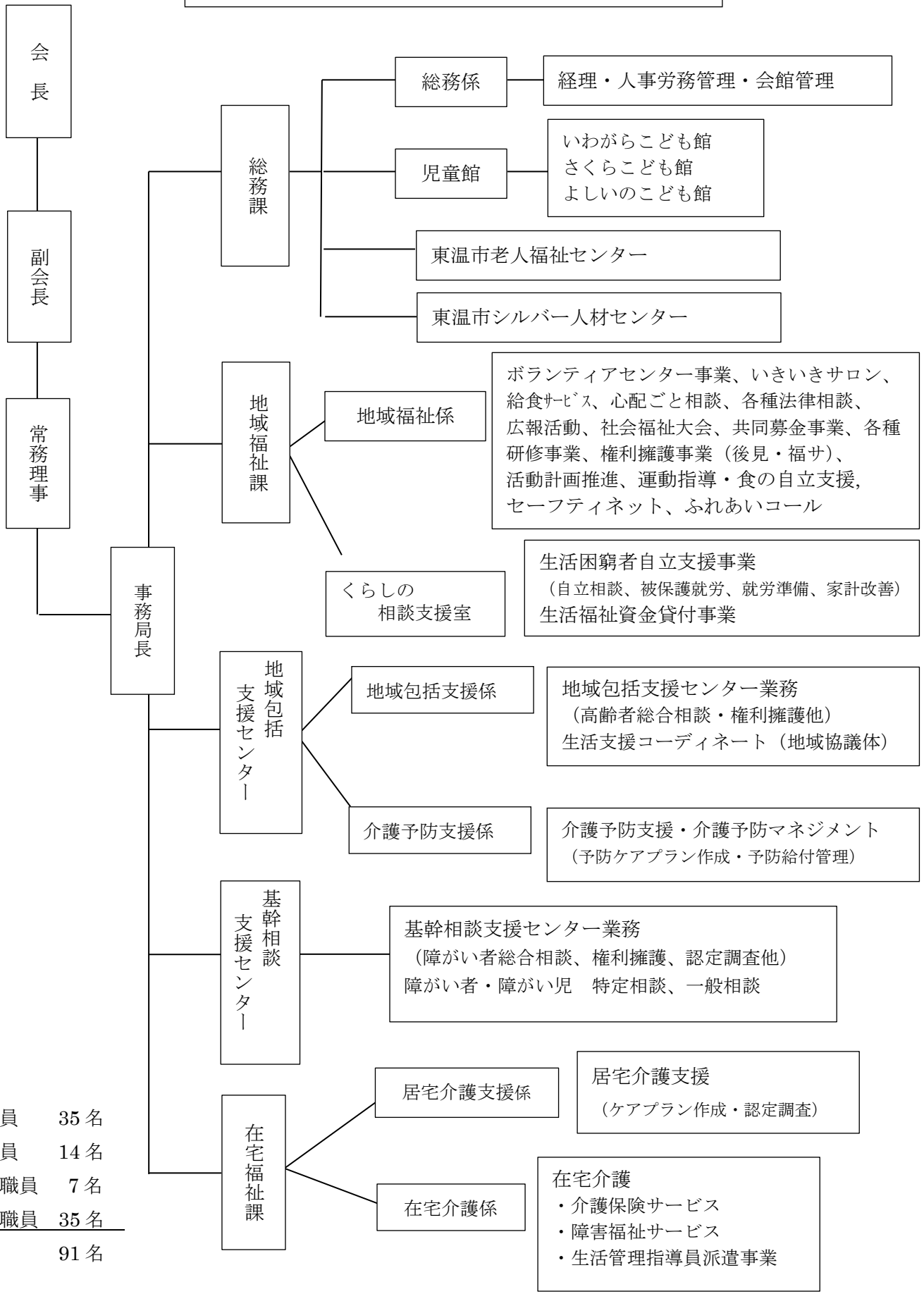


令和2年度 東温市社会福祉協議会 組織図

Ver5/6

理事(11)、監事(2)、評議員(22)、第三者委員(2)



正規職員	35名
嘱託職員	14名
再雇用職員	7名
パート職員	35名
計	91名

令和2年度 東温市社会福祉協議会 事業報告書

総務課

1. 総務係

法人運営事業 ■財源（市補助金、県社協助成金、寄付金、会費）

概要：理事会、評議員会、監事会の開催、社協会費、役員報酬、職員給与、福利厚生、職員人事、職員研修、財産管理等法人運営の事務を行いました。

(1) 理事会の開催

① 第62回理事会

期 日：令和2年6月2日（火）10：00～

場 所：東温市総合保健福祉センター2階第1第2会議室

出席状況：出席者 理事10名、監事2名 理事欠員1名

協議内容：令和元年度東温市社会福祉協議会事業報告について
令和元年度東温市社会福祉協議会資金収支決算報告について
副会長の選任
東温市社会福祉協議会評議員の一部推薦について
定時評議員会の開催他

② 第63回理事会

期 日：令和2年10月29日（木）10：00～

場 所：東温市総合保健福祉センター2階第1第2会議室

出席状況：出席者 理事11名、監事1名

協議内容：会長及び常務理事の職務執行状況について
令和2年度資金収支執行状況等について
令和2年度重点取り組みの進捗状況について

③ 第64回理事会

期 日：令和3年3月19日（金）13：30～

出席状況：出席者 理事10名、監事2名

協議内容：専決処分について
各種規程等の一部改正について
令和2年度東温市社会福祉協議会資金収支補正予算について
令和3年度東温市社会福祉協議会事業計画（案）について
令和3年度東温市社会福祉協議会資金収支予算（案）について
評議員選任解任委員の選任について
評議員会の開催について

(2) 評議員会の開催

① 第44回定時評議員会

期 日：令和2年6月22日（月）13：30～

場 所：東温市中央公民館2階第1第2研修室

出席状況：出席者20名、欠席2名

協議内容：平成元年度東温市社会福祉協議会事業報告について

平成元年度東温市社会福祉協議会資金収支決算報告について
理事の一部選任について

② 第45回評議員会

期 日：令和3年3月29日（月）10:00～

出席状況：出席者17名、欠席5名

協議内容：専決処分について

各種規程等の一部改正について

令和2年度東温市社会福祉協議会資金収支補正予算について

令和3年度東温市社会福祉協議会事業計画（案）について

令和3年度東温市社会福祉協議会資金収支予算（案）について

(3) 監事会の開催

① 期 日：令和2年5月13日（水）13:30～

場 所：東温市総合保健福祉センター2階ふれあい交流室

出席状況：出席者 菅野監事、森監事 2名

協議内容：令和元年度東温市社会福祉協議会事業報告について

令和元年度東温市社会福祉協議会資金収支決算について

② 期 日：令和2年10月21日（水）9:00～

場 所：東温市総合保健福祉センター2階第1第2会議室

出席状況：出席者 菅野監事、森監事 2名

協議内容：令和2年度会計・事業の進捗状況

預貯金・小口現金・切手等の確認

(4) 評議員選任・解任委員会

① 期 日：令和2年6月2日（火）13:30～

場 所：東温市総合保健福祉センター2階 第1第2会議室

出席状況：出席者 外部委員2名、監事1名、事務局2名

協議内容：東温市社会福祉協議会評議員の一部選任について

(5) 第三者委員会

① 期 日：令和2年8月17日（月）10:00～

場 所：東温市総合保健福祉センター2階 第1第2会議室

出席状況：出席者 第三者委員2名、事務局6名

協議内容：ヒヤリハット、苦情報告、事故報告

(6) 社会福祉法人連携会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催

(7) 社協会員

本会の趣旨に賛同し、事業に協力・支援をいただける個人・法人から会費を募り、各種事業の運営費として活用しました。

会員種別	摘 要	元年度	2 年度
一般会員 (500 円)	会費納入額 ①	4,285,200 円	4,285,100 円
	会員数 (会費納入世帯数) ②	8,580 世帯	8,556 世帯
	組入り世帯数 ③	9,936 世帯	9,973 世帯
	加入率 ④ (②/③)	88.12%	87.50%
特別会員 (2,000 円)	会費納入額 ⑤	294,000 円	272,000 円
	会員数 ⑥	147 人	136 人
合 計	会費納入合計額 ⑦ (①+⑤)	4,579,200 円	4,557,100 円

会費充当事業：サロン推進費、福祉団体助成、ボランティア事業費、広報活動費、ふれあい給食事業費、相談事業費、子育て支援、地区活動助成金

(8) 東温市社会福祉功労者表彰式 (東温市社会福祉大会は中止)

日時：令和2年11月18日(水) 東温市総合保健福祉センター3階大会議室

内容：式典 福祉功労者の表彰

(9) 職員研修

1 外部研修への参加

職員の資質向上を図るため、外部研修への出席、参加

2 全職員を対象とした内部研修

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため集合研修を中止し書面配布1回実施

事業計画、組織体系、法令順守、安全衛生管理計画、交通安全について

(10) 広報・啓発活動の実施

市民に対して社協事業の広報・啓発を図る。

1 「社協だより」の発行 年6回 10,800部/回発行

2 「ホームページの公開」 インターネット上にホームページを公開し、社協事業の周知を図る。 <http://toon-shakyo.or.jp/>

東温市社協

検索

(11) まごころ銀行運営事業 ■財源(まごころ銀行)

香典の一部や、地域の活動での余剰金を福祉目的に寄付を申し出られた方の窓口として設置運営を行う。預託された寄付金に指定がない場合は、「紙おむつ購入費助成事業」に活用しました。

○まごころ銀行預託状況

年度	寄附件数	寄付金額	寄付金総額
2年度	30件	835,141円	835,141円
元年度	37件	936,964円	936,964円

【紙おむつ購入費助成事業】

在宅で常時紙おむつを使用している方を対象に、1ヶ月紙おむつ購入費上限額8,000円の3分の1相当を負担し、対象者の経済的負担の軽減を図りました。

○紙おむつ購入費助成事業利用実績

年度	延利用者数	助成金額
2年度	682人	1,352,920円
元年度	775人	1,521,141円

【まごころ福祉基金】

平成28年東温市在住の高齢者より、東温市の地域福祉のために使って欲しいと多額(1千万円)のご寄附をいただいたことから、「まごころ福祉基金」を創設しました。寄付者の意思に添うように、地域の要望等を勘案し基金の有効かつ適切な運用を図りました。

○年間100万円前後の運用を実施しました。

- | | |
|----------------|--------------------|
| ①小地域福祉活動の促進 | ②高齢者に対する福祉の促進 |
| ③障がい者に対する福祉の促進 | ④青少年・児童健全育成対策の促進 |
| ⑤ボランティア活動の促進 | ⑥低所得者に対する福祉の促進 |
| ⑦成年後見事業の普及及び促進 | ⑧開拓的・先駆的な社会福祉事業の促進 |

2年度助成金額 1,057,000円

- ① 環境整備、地域福祉事業等の地区助成金 3地区1団体 (計277,000円)
- ② 高等学校等入学支援金(準要保護世帯39人×2万円=780,000円)
内訳：重信中学校29人／川内中学校10人

(12) 福祉団体助成事業 ■財源(市補助金、社協会費)

地域で活動する福祉団体に対して助成を行いました。

- ① 青少年福祉活動助成金(幼稚園・保育所・小学校・中学校を対象)
- ② 地区活動助成金
- ③ ボランティア団体活動助成金(ボランティア連絡協議会)
- ④ 老人クラブ見守り推進活動助成金
- ⑤ 母子寡婦福祉会助成金

(13) 児童館運営事業 ■財源(市受託金)

児童の健やかな成長を助長するため、健全な遊び場と体験的な学習の機会を提供し、健康を増進するとともに、情緒を豊かにすることを目的として設置された児童館に職員を配置しました。

年度	いわがら	さくら	よしいの	合計
2年度	8,346人/年 (33人/日)	4,823人/年 (19.1人/日)	9,608人/年 (38.1人/日)	22,777人/年 (90人/日)
元年度	22,250人/年 (83人/日)	13,260人/年 (50人/日)	30,369人/年 (114人/日)	65,879人/年 (247人/日)

職員数：常勤職員9名、パート職員11名

(14) 東温市老人福祉センター運営事業 ■財源 (市受託金)

高齢者の交流、生きがい作りの場である東温市老人福祉センターに、1名の職員を配置しました。

年度	利用回数/年	利用者数/年
2年度	975回	9,237人
元年度	1,550回	26,485人

(15) 東温市シルバー人材センター事業 ■財源 (シルバー人材センター受託金)

シルバー人材センター事業を支援するため、2名の職員を派遣しました。

○シルバー人材センター 3年3月登録者数： 169人 (男性 128人、女性 41人)

地域福祉課

1. 地域福祉係

概要：住み慣れた地域で、生き生きと生活出来るよう地域や住民活動の推進・強化を図るため各種事業を行いました。

(1) ふれあい・いきいきサロンの推進・支援 ■財源（市補助金、社協会費）

小地域においてボランティアと利用者が一体となり、地域の実情に応じた自由な発想で取り組める活動を実施することにより、地域を作り上げていくためのコミュニティー作りを推進しました。

（高齢者サロン 52、障がい者サロン 1、子育てサロン 1、家族介護者サロン 1）

年度	サロン数	実施回数	延参加者数
2年度	55ヶ所	317回	4,263人
元年度	55ヶ所	560回	15,186人

(2) ボランティアの育成 ■財源（市補助金、社協会費）

ボランティアによる地域福祉活動の推進を助長するため、相談援助、講座の開催、広報活動等を実施しました。

① ボランティア講座の開催

(1) 音声訳ボランティアフォローアップ講座 全10回 延90人参加

② 福祉の仕事1日体験の開催

小学校5年生から高校3年生までを対象に、夏休みを利用して福祉の現場を1日体験し、福祉の仕事の理解を深めてもらう事業ですが、コロナ対策により中止しました。

年度	協力施設数	参加者数			
		小学生	中学生	高校生	合計
2年度	新型コロナ感染症拡大予防のためすべて中止				
元年度	26施設	141人	72人	99人	312人

(3) ボランティア連絡協議会への支援 ■財源【市補助金、社協会費】

東温市ボランティア連絡協議会への支援 12団体加入、総数258人

① 東温市ボランティアフェスティバル

新型コロナ感染症拡大予防のため中止

② 松山広域圏ボランティア協会交流会

新型コロナ感染症拡大予防のため中止

③ 定例会の開催

定例会 8回/年 総会 書面決議 1/年 監事会 1回/年

④ 研修会

令和3年2月18日（木）普通救命講習 32名参加

(4) 福祉教育の推進 ■財源【市補助金、社協会費】

市内小・中学校へ職員を派遣し福祉教育又はそのコーディネートを行いました。

小学校 15回

車いす体験、高齢者・障がい者疑似体験、福祉講座他 盲導犬体験(上林小学校 2/3)

(5) 子育て支援事業「すくすく」 ■財源（市補助金、すくすく会費）

就園前の乳幼児と保護者の交流の場、情報交換の場の提供を図る。育児中の保護者が生き生きと暮らし、地域の中で協力し合いながら子育てしていくことを目指して実施しました。

2年度実績	実施回数	延利用者数	1回平均数	会 員 数
	28回	248人	8.8人	42人（18家族、子ども24人）

（元年度会員数75人）

(6) ふれあい給食サービス事業 ■財源（市補助金、社協会費）

市内の80歳以上の独居高齢者のうち、安否確認が必要であると民生児童委員が認めた者に対し、月2回昼食を提供し、対象者の孤立感の解消を図りました。

地区	実施回数	配食数	1回平均配食数	延調理ボランティア数	1回平均ボランティア数	ボランティア
重信	15回	1,006食	67食	158人	10人	調理ボランティア 地区民生委員、食改グループ
川内	15回	1,079食	72食	124人	8人	調理ボランティア 配食ボランティア
合計	30回	2,085食	139食	282人	18人	

（元年度配食数 2,470食）

※ 調理ボランティア研修会の実施

2年8月3日（月）於：東温市中央公民館

(7) 各種相談事業 ■財源（市補助金、社協会費）

住民を対象に各種の相談活動を行い、住民の福祉の向上に資することを目的に実施しました。

2年度実績		心配ごと相談	弁護士	司法書士	行政書士	土地家屋	税理士	合 計
	回数	21回	12回	11回	10回	11回	10回	75回
件数	5件	66件	34件	9件	7件	21件	142件	

（元年度相談件数 147件）

- ① 心配ごと相談所開設
民生児童委員による無料相談 毎月 第2,第4木曜日 13:00~15:00
- ② 弁護士相談所開設
弁護士による無料相談 毎月 第2火曜日 13:30~15:30(1人20分)
- ③ 司法書士相談所開設
司法書士による無料相談 毎月 第4金曜日 13:30~15:30(1人30分)
- ④ 行政書士相談所開設
行政書士による無料相談 毎月 第3水曜日 13:30~16:00(1人30分)
- ⑤ 土地家屋調査士相談所開設
土地家屋調査士による無料相談 毎月 第1水曜日 13:30~15:30(1人30分)
- ⑥ 税理士相談所開設
税理士による無料相談 毎月 第3木曜日 13:30~15:30(1人30分)

(8) 福祉サービス利用援助事業 ■財源（県社協受託金、市補助金、利用料）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自分の判断に自信のない方を対象に福祉サービスの利用やそれに伴う日常的な金銭管理の支援を行いました。

2年度 実績	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	利用者計
	2人	4人	8人	1人	15人

(元年度契約者数 14人)

(9) 法人後見事業 ■財源（市補助金、報酬）

精神上の障害により、判断能力が不十分な方に対して、家庭裁判所の指導監督の下、財産管理や身上監護を行いました。

2年度 実績	類型	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	利用者計
	後見	0人	5人	2人	7人
	保佐	0人	0人	0人	0人
	補助	0人	1人	1人	2人
	計	0人	6人	3人	9人

(元年度受任数 7人)

(10) 社会貢献事業 ■財源（自主財源）

福祉ニーズの多様化・複雑化に伴い、既存の制度では十分に対応できない人たちに対する支援の必要性は年々高まっており、社会福祉法人の本旨に従い、社会貢献事業に取り組みます。

① 介護職員初任者研修事業（人材育成事業）

研修カリキュラム時間数 131時間

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

(11) 共同募金配分金事業 ■財源（赤い羽根募金配分金、歳末募金配分金）

概要：愛媛県共同募金会東温市支会が行った赤い羽根募金及び歳末たすけあい募金運動による募金を愛媛県共同募金会から配分金として受け、地域福祉向上のために、各種事業に活用しました。

① 赤い羽根共同募金運動実績

- 1 運動期間 10月1日～12月31日
- 2 募金目安 世帯あたり500円
- 3 募金実績額 6,011,756円（元年度 6,112,709円）

●2 年度共同募金地域配分実績

単位：円

費 目	配分内容	決 算 額
老人福祉活動費 1,403,634 円	高齢者サロン助成 (49ヶ所)	1,395,000
	サロン整備費	8,634
障がい児・者福祉活動費 527,650 円	身体障害者協会	70,000
	知的障害者の会ふきのとう助成	70,000
	精神障害者地域家族会とうおん会助成	20,000
	障がい児・者サロン助成	25,000
	障がい児・者仲間づくり事業	342,650
児童・青少年福祉活動費 766,771 円	子育てサロン助成	30,000
	子育て支援すくすく	192,060
	ふれあいニコニコカレンダー作成	540,712
	とうおんふれあい食堂	3,999
福祉育成・援助活動費 706,341 円	地区活動事務費 (募金額 7%)	283,381
	福祉教育教材費	57,860
	東温市食生活改善推進協議会	70,000
	災害備品整備費	295,100
ボランティア活動育成事業費 470,000 円	HATACHIの会	30,000
	TOON音 ²	80,000
	トーンチャイムレインボー	50,000
	とうおんマジックボランティア	40,000
	音声訳グループはなみずき	60,000
	みやびの舞の会	30,000
	精神保健ボランティア ほのぼの	40,000
	災害ボランティア東温	70,000
	ラブイン・ザ・メロウ	30,000
	オカリーナ♪そよかぜ	40,000
合 計		3,874,396

●2 年度災害見舞金 火災 0 件

② 歳末たすけあい運動実績

- 1 運動期間 12月1日～12月31日
- 2 募金目安 世帯あたり 300円
- 3 実績額 2年度 2,457,700円 (元年度 2,434,176円)

●2 年度歳末たすけあい運動配分実績

単位：円

費 目	単価	件数	決算額
東温市出身者児童施設入所者見舞金	5,000	4 人	20,000
施設入所者の内、中学校 3 年生への見舞金	30,000	0 人	0
施設入所者の内、高校 3 年生への見舞金	50,000	0 人	0
市内特養、障がい者施設及び東温市出身者児童施設利用者への見舞品	201	571 人	118,090
独居高齢者への見舞品	1,196	456 人	545,376
紙おむつ購入費助成事業（まごころ銀行補填）			1,163,209
地区活動助成（募金額 7%）	(7%)	34 地区	171,025
中学校入学支援金支給事業（準要保護世帯）	20,000	22 人	440,000
合 計			2,457,700

(12) 運動指導事業

①プール使用型運動指導事業 ■財源（市受託金）

65 歳以上の高齢者を対象に、「ふるさと交流館さくらの湯」プールを利用し、水中運動を継続的に実施することにより、生活習慣病や要介護状態になることを予防するとともに、健康づくりに寄与することを目的に実施しました。

年度	実施回数	利用者数	延利用者数	1 回平均利用者数
2 年度	51 回	67 人	521 人	10 人
元年度	71 回	101 人	714 人	10 人

②地区訪問型運動紹介事業（2 年度で事業終了） ■財源（市受託金）

各地区公民館、集会所に出向き、高齢者を対象に運動を行うことにより、生活習慣病や要介護状態になることを予防するとともに、運動の必要性・楽しさを理解してもらうことを目的として実施しました。

年度	実施回数	延利用者数	1 回平均利用者数
2 年度	17 回	117 人	6 人
元年度	73 回	775 人	10 人

③短期集中運動講座事業 ■財源（市受託金）

高齢者を対象に農村環境改善センター等を利用し集中的に運動を行うことにより、生活習慣病や要介護状態になることを予防するとともに、運動の必要性・楽しさを理解し継続して運動をしてもらうことを目的として実施しました。

年度	実施回数	延利用者数	1回平均利用者数
2年度	28回	568人	40人
	内訳) 重信地区 14回 川内地区 14回	内訳) 重信地区 386人 川内地区 182人	内訳) 重信地区 27人 川内地区 13人
元年度	28回	608人	42人
	内訳) 重信地区 14回 川内地区 14回	内訳) 重信地区 415人 川内地区 193人	内訳) 重信地区 29人 川内地区 13人

④介護予防運動指導事業 ■財源（市受託金）

65歳以上の方を対象として、川内健康センターにおいて継続的に運動を実施することにより、要介護状態となることを予防する目的として実施しました。

年度	実施回数	利用者数	延利用者数	1回平均利用者数
2年度	82回	79人	1,115人	13人
元年度	99回	99人	1,994人	19人

⑤地域介護予防活動支援事業

介護予防に取り組みたいグループに対し、自主グループの立ち上げ支援及び活動継続のための支援を行うことを目的として実施しました。

年度	実施回数	延利用者数	1回平均利用者数
2年度	45回	530人	11人
元年度	96回	1,450人	15人

(13) セーフティネットワーク事業 ■財源（市受託金）

75歳以上の高齢者世帯及び障がい者等、事業対象者の登録、聞き取り、相談を行い個別避難計画の整備及び推進活動を行いました。

●2年度避難行動要支援者台帳登録者

単位：人

区分	属性	計画作成同意者
障がい者 930人	身体障がい児者(手帳1～3級)	628
	知的障がい児者(手帳所持)	236
	精神障がい児者(手帳1～3級)	115
75歳以上高齢者 2,794人	1人暮らし高齢者	1,304
	75歳以上のみ世帯高齢者	1,053
	75歳未満と同居上高齢者	437
その他災害時の自力避難に不安を抱く登録希望者		1,375
指定難病患者		112

※一人で2種類の手帳所持、75歳以上の手帳所持など区分が重複した対象者あり

(14) 食の自立支援事業および栄養改善見守り配食事業 ■財源（市受託金）

概ね 65 歳以上の独居高齢者また高齢者世帯の食の自立を促進するため、調理が困難な高齢者に対し、栄養のバランスのとれた食事を 1 食 420 円で訪問により提供することで、健康維持、安否の確認、孤独感の解消を図りました。（昼食、夕食の提供）

年度	昼食利用者数	夕食利用者数	総配食数	利用者数(延べ)
2 年度	7,997 食 1 日平均 21 食	12,815 食 1 日平均 34 食	20,812 食	832 人
元年度	11,199 食 1 日平均 30 食	16,668 食 1 日平均 45 食	27,867 食	1,058 人

(15) 独居高齢者ふれあいコール ■財源（自主財源）

東温市内の 65 歳以上の病弱な独居高齢者に対して、週 2 回程度電話にて安否確認を行いました。

実績：利用者数 6 名（男性 2 人、女性 4 人）

年間 398 回（月平均 33 回）のコールを実施

2. 地域福祉課 くらしの相談支援室

(1) 生活困窮者自立相談支援事業 ■財源（市受託金）

概要：生活困窮者の相談に対応する窓口の設置し、相談対応や支援、支援計画の作成を行い、福祉事務所、ハローワーク、関係機関等のネットワークづくり、社会資源の開発を行いました。

年度	新規相談者	利用申込数	支援調整会議	支援実績
2 年度	274 人（男 160 女 114）	195 件	11 回	2187 件
元年度	94 人（男 42 女 50 不明 2）	39 件	13 回	957 件

(2) 生活困窮者等就労準備支援事業 ■財源（市受託金）（令和 2 年度開始）

概要：就労に対する不安がある方を対象に、個別に就労準備支援プログラムを作成し、就労に向けた基礎能力を養うなど就労に向けた準備の支援を行いました。

新規プラン策定	
生活困窮者	被保護者
1 人	0 人

(3) 生活困窮者等家計改善支援事業 ■財源（市受託金）（令和 2 年度開始）

概要：家計状況の見える化と根本的な課題を把握し、相談者自らが家計を管理できるよう、状況に応じた支援計画を作成し、相談支援、関係機関へのつなぎなどを行いました。

新規プラン策定	再プラン策定		プラン終結		
生活困窮者	4 件	生活困窮者	3 件	生活困窮者	0 件
被保護者	6 件	被保護者	1 件	被保護者	1 件

(4) 被保護者就労支援事業 ■財源（市受託金）

概要:生活保護法に基づき、被保護者からの就労に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、就労支援を行いました。

年度	利用申込者	紹介就職者	自己就職者	期間満了	転出者
2年度	4人(再申込1)	3人	0人	1人	0人
元年度	3人	0人	1人	1人	1人

(5) 生活福祉資金貸付事業 ■財源（県社協受託金）

低所得者、障がい者または高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として実施しました。

年度	相談件数	新規貸付件数
2年度	1417件	527件（特例含む）
元年度	159件	15件

(6) とうおん♡ふれあい食堂 ■財源（共同募金）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会食形式からテイクアウト方式に変更して実施

実施日	令和3年3月20日
対象	中学生以下の児童がいる世帯
内容	カレー、サラダ、さんま缶詰配布
提供数	19組83食

地域包括支援センター

概要：地域の高齢者を総合的に支援するとともに、介護予防事業に取り組みました。
また、要支援 1、2 の方の介護予防支援計画の作成を行いました。

【包括的支援事業】 ■財源（市受託金）

地域高齢者へ総合的な支援（包括的な支援）を行いました。

【介護予防支援事業】 ■財源（自主財源、市補助金）

介護保険対象者のうち、要支援者・事業対象者に対するケアプランの作成を行いました。

【任意事業】 ■財源（市受託金）

閉じこもり予防、認知症予防に関する事業を行いました。

● 2 年度地域包括支援センター事業実績数

1. 包括的支援事業

事業・事業名	元年度	2 年度
総合相談支援事業		
総合相談延べ人数（人）	2216	1987
権利擁護事業		
消費者被害・消費者トラブル（人）	9	7
成年後見制度に関する相談（人）	89	43
高齢者虐待に関する相談（人）	33	86
老後の安心教室（回）	2	3
在宅医療介護連携事業		
医療介護連携を含めた相談（人）	449	435
包括的・継続的マネジメント支援事業		
介護支援専門員からの相談対応	168	192
介護支援専門員・介護従事者連絡会（回）	10	10
地域密着型事業所の運営推進会議の出席（回）	37	45
ケアプラン・コメント指導（件）	360	390
介護予防把握事業		
高齢者実態把握（人）	7	400
生活支援体制整備事業		
第 2 層協議体参加回数（回）	重信 5 川内 5 合同 5	重信 12 川内 15 合同 3
第 1 層協議体開催回数（回）	2	2
認知症総合支援事業		
認知症に関わる相談支援（人）	262	447
初期集中支援事業 事業利用実人数（人）	2	2
相談支援延べ人数（人）	34	40
地域ケア会議推進事業		
地域ケア個別会議開催（回） （自立支援）	11	12
（困難事例対応）	11	14

2. 任意事業

事業・事業名	元年度	2年度
介護相談員派遣事業 延派遣人数（人）	240	0
家族介護教室 延参加者数（人）	147	30
認知症サポーター養成講座 実施回数（回）	16	6

新型コロナウイルス感染防止のため施設に介護相談員を派遣できなかった。

3. サロン支援

事業・事業名	元年度	2年度
サロン支援 出前講座（回）	61	14

●2年度介護予防支援事業実績

単位：人

請求月	包括担当数	委託件数	合計	委託率（%）	初回件数
4月	244	214	458	46.7	22
5月	243	199	442	45	10
6月	239	199	438	45.4	14
7月	246	204	450	45.3	14
8月	245	195	440	44.3	19
9月	244	204	448	45.5	18
10月	241	202	443	45.6	15
11月	243	202	445	45.4	16
12月	254	200	454	44.1	17
1月	252	194	446	43.5	11
2月	246	192	438	43.8	13
3月	245	192	437	43.9	13
合計	2942	2397	5339		182
2年度 月平均	245.2	199.8	444.9	44.9	15.2
元年度 月平均	243.4	213.6	457	46.7	15.8

【委託数 35事業所】R3.3月末現在

基幹相談支援センター

概要：障がい者のワンストップ相談窓口として、専門相談、地域移行・地域定着、関係機関とのネットワーク、権利擁護・虐待防止等の業務を行いました。

障がい児・者が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう支援していくため、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員の専門職を配置し、極め細やかな支援を行いました。

●総合相談事業 ■財源（市受託金）

障がい児・者に対する総合相談窓口として、適切な支援に繋がるよう関係機関との情報を密にし、利用者の不安解消・情緒安定を図りました。

【2年度相談者実数】

単位：人

	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	合計
障がい児	8	6	30	6	46	1	2	45	144
障がい者	64	38	74	88	15	3	3	43	328
合計	72	44	104	94	61	4	5	88	472

元年度相談者数 459 人

【2年度支援実件数】

単位：件

福祉サービス利用等に関する支援	2163	日常生活に関する支援	48
障がいや病状の理解に関する支援	174	就労に関する支援	102
健康・医療に関する支援	252	社会参加・余暇活動に関する支援	5
不安の解消・情緒安定に関する支援	256	権利擁護に関する支援	52
保育・教育に関する支援	211	住宅入居等	9
家族関係・人間関係に関する支援	62	その他	57
家計・経済に関する支援	61	合計	3,452

2年度支援延べ件数 6,854 件

●地域自立支援協議会（定例会・専門部会事務局）

定例会（5回）、子ども部会（4回）、子ども部会小部会（8回）、
成人部会（3回）、成人部会小部会（1回）

●勉強会や研修会等の開催

相談支援専門員勉強会（4回）、個人情報保護勉強会（1回）、保護者対象勉強会（3回）

●教育・保健・福祉・医療との連携・・・支援会議に出席

教育・保育（35回）、保健（4回）、福祉（9回）、医療（5回）

●障害者総合支援法に基づく認定調査 126 件 ■財源【市受託金】

●特定相談支援事業（サービス等利用計画作成） ■財源【自主財源】

（契約件数 403 件／計画作成件数 成人 161 件、児童 112 件

モニタリング件数 成人 473 件、児童 121 件）

在宅福祉課

1. 居宅介護支援係（ケアマネジャー）

概要：介護保険対象者に対して、利用者の要望に応じながら、サービス事業者間の調整を行い介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、安心して在宅生活が営めるように支援しました。

【居宅介護支援事業】 ■財源（自主財源）

要支援、要介護状態と認定された方が、安心して介護サービスを利用できるよう、ケアプランを作成し、関係機関との連絡調整、相談に応じました。

●2年度居宅介護支援実績（ケアプラン作成業務）

単位：人

作成月	要支援1 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	5	44	35	17	10	5	116
5月	5	45	34	16	11	4	115
6月	4	46	34	15	9	6	114
7月	5	47	36	15	8	7	118
8月	4	47	33	14	11	7	116
9月	5	46	37	15	11	5	119
10月	5	49	39	15	10	6	124
11月	3	47	39	18	9	5	121
12月	4	48	38	18	10	4	122
1月	3	50	36	18	9	5	121
2月	3	48	36	18	10	5	120
3月	2	49	37	19	8	5	120
合計	48	566	434	198	116	64	1426
2年度月平均	4	47.2	36.2	16.5	9.7	5.3	118.8
元年度月平均	3.1	47.6	36.8	20.9	11.3	5.3	124.9

令和3年3月末職員数：介護支援専門員4名

●要介護認定調査実績15件

2. 在宅介護係（ホームヘルパー）

（1）介護保険事業

概要：介護保険対象者に対して、介護サービス計画（ケアプラン）を作成する居宅介護支援事業や他のサービス事業者、医療等と連携し、介護サービス計画（ケアプラン）に基づきホームヘルパーを派遣する訪問介護事業を行いました。

（訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業） ■財源（自主財源）

要支援、要介護状態と認定された方に対して、介護サービス計画に基づき、ホームヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助を行いました。

●2年度生活支援総合事業・訪問介護実績

単位：人

作成月	要支援1 要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	21	18	7	5	3	2	56
5月	20	18	7	5	3	2	55
6月	20	17	7	5	3	2	54
7月	23	18	7	6	4	2	60
8月	26	17	7	6	3	2	61
9月	27	15	8	7	2	2	61
10月	27	16	8	7	2	2	62
11月	26	17	7	6	2	2	60
12月	29	18	6	7	1	1	62
1月	26	18	6	5	1	1	57
2月	25	18	6	6	1	2	58
3月	26	19	7	6	0	2	60
合計	296	209	83	71	25	22	706
2年度月平均	24.7%	17.4%	6.9%	5.9%	2.1%	1.8%	58.8%
元年度月平均	18.1%	17.2%	12.1%	5.1%	1.1%	1.2%	54.7%

(2) 障害者居宅介護事業（障がい者に対するホームヘルプ事業）

概要：障害福祉サービス利用対象者に対して、「サービス等利用計画」に基づきホームヘルパーを派遣する訪問介護事業を行いました。

【居宅介護事業】 ■財源（自主財源）

障害者総合支援法に基づく居宅介護（障がい者に対するホームヘルプ事業）、重度訪問介護、同行援護（視覚障がい者に対する移動支援）、地域生活支援（視覚障害者以外の移動支援）を行いました。

● 2年度障害福祉サービス実績

単位：人

年度	区分	身体	知的	精神	児童	合計
2年度	居宅介護	3	5	18	3	29
	重度訪問介護	2	0	0	0	2
	同行援護	5	0	0	0	5
	地域支援（移動）	2	2	5	1	10
	合計	12	7	23	4	46
元年度	居宅介護	4	6	17	3	30
	重度訪問介護	2	0	0	0	2
	同行援護	4	0	0	0	4
	地域支援（移動）	2	5	7	1	15
	合計	12	11	24	4	51

(3) 生活管理指導員派遣事業

概要：介護保険制度の対象から外れた社会適応が困難な高齢者等に対して、日常生活に対する支援・指導を、生活管理指導員を派遣することにより、利用者が自立して在宅で生活を送ることが可能なよう支援を行いました。

【生活管理指導員派遣事業】 ■財源（市受託金）

（生活管理指導員としてヘルパーを派遣する。）現在の対象者 0 名

年度	利用者数	派遣回数	派遣時間
2年度	0人	0回	0時間
元年度	1人	51回	50.5時間

(4) 介護職員の処遇改善 ■財源（自主財源）

やりがいある職場作りのため、訪問介護員の処遇改善を図りました。

1. 処遇改善手当の支給

2年度実績：総額 9,966,320 円（元年度実績 10,749,130 円）

2. 特別休暇制度の活用

（資格取得、研修等参加職員に対し特別休暇の付与）

令和2年3月末現在、訪問介護員 24 名（常勤職員 10 人、パート職員 14 人）